

数十万種と推定される脂質を 分析して価値を還元する

秋田大学で学内ベンチャーとして創業した株式会社リピドームラボは脂質を分析し、その価値を証明することができる。脂質の価値を世の中に還元したいというその目的について研究開発部長の大戸貴代さんにお話を伺った。



研究開発部長
大戸 貴代

株式会社 リピドームラボ

〒010-0825
秋田市柳田字糠塚1-2
TEL:018-848-2021
<https://lipidome.jp/>



HP



研究だけでは活かせない 脂質の有用性を世間に役立てる

秋田大学本道キャンパス内に本社を構える株式会社リピドームラボ。脂質の分析や研究支援を主な事業としている。

リピドームとは生体内にある脂質の総体を意味する。脂質を「すべての生物がもつ天然資源」とし、秋田大学で教員をする傍ら、研究を続けてきた代表・中西さんと研究開発部長・大戸さん。脂質は、数十万もの種類があると推定されているが、その機能の全容は明らかになっていない。企業などからの分析依頼が増えていたが、大学教員としての立場との葛藤を感じたという。

「代表の中西も私も、長く大学で研究を行っていましたが、どうしても大学所属のままでは分野を超えた研究やスピード感のある動きをとることが難しかった。研究成果を少しでも早く社会に還元し脂質の価値を活かしたいと考え、平成31年に事業化しました」。

脂質に関連する分野は基礎研究のほか、食品分野、医療分野、美容・化粧品分野など。現在の顧客である研究機関や事業会社、スタートアップ企業などに向けて分析・解析などの受託サービスのほか研究開発支援も行っている。

脂質を測り、分析をするだけでなく できることを広げていきたい

同社の特徴は、数百、数千種類の脂質の種類と量を一齐に測定できる技術であり、測定データの解析手法が一番の強みだ。

「ソフトウェアによる解析の結果に、私たちのこれまでの知見を加味して、脂質の効果について考察しており、より正確で価値のある支援につながっていると自負しています」と胸を張る大戸さん。しかし、現状に甘んじているわけではなく、できることを増やしたいとも話す。

「今は考察までしかできませんが、これからは脂質を作る技術を開発し、実験・証明することまで可能にしたいです。ゆくゆくは研究や商品の開発などの取り組みも推進し、新たな脂質市場の創出を目指したい。また、秋田の特産品について、どう脂質をコントロールすればよりおいしくなるかなどを調べ、秋田の産業や企業を支援したいですね」。

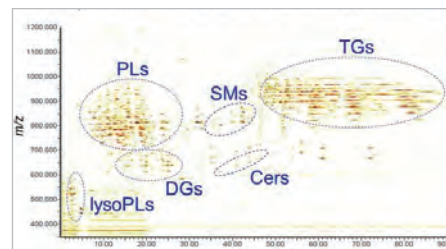
脂質を測り、分析することは知らなかった効能を発見する糸口になる。脂質分析が秋田の新たな可能性を見出す機会となるかもしれない。



提供された検体から脂質を取り出すための作業を行う様子。



質量分析計(マスペクトロメトリー)により物質を特定し、その量を測っている。



ソフトウェアの解析を基に考察し結果を顧客に提供。